

きつかけは十数年前…  
司馬遼太郎の名作  
『坂の上の雲』を  
読み進めるうちに感じた  
違和感でした。

旅順攻囲戦  
二〇三高地  
奉天会戦  
第一師団  
七田兵

(あれ?)  
わたし、  
この日露戦争あたり  
なんか知ってる…?)

その感覚は  
「知識がある」ではなく  
「当時から憶えている」であり、  
むしろなつかしい気持ちで  
いっぱいになりました。

ただ、  
旅順要塞図は  
その数年後  
NHKで『坂の上の雲』が  
ドラマ化されたり、  
日露戦争時代を  
題材にした漫画にふれ、  
当時の様子を  
画像で知ることが多くなり、  
ある気持ちがドンドン  
膨らんできました。

え?なに?  
いやいやいやいや  
まさか、まさか  
現実でそんな  
小説みたいなの  
でも  
白樺隊も  
見るだけで  
涙が出ちゃうの  
明治時代の紺色の  
軍服に  
なんとも  
いえない  
なつかしさを覚えるの…

前世?  
日露戦争って

そんなモヤモヤした  
気持ちを抱えつつ  
なんか怖くて  
深く追求しないまま  
十数年……

ついに暇を持て余した  
このゴールデンウィーク中に  
その謎を  
追ってみようと  
詳しく調べてみました。

私にヒマを  
与えるんじや  
ないよ……  
コロナめ……

まさかのついでへ

そろそろ、そろり…